

令和4年度 新潟県地質調査業協会『技術伝承講習会』開催要領

時代の変化とともに、昨今の地質調査業においてもデジタル化が進み、作業速度が早くなり扱える情報量が増大した。しかし、これらは道具の進歩であり、ベテラン技術者の長年の経験に裏付けられた知識や調査技術、解析評価手法等は、真に身につけるべき・伝承すべき技術であると考えます。

このため、マニュアルや指針には明確に規定されてはいないが、実際に解析業務を進めるうえでの『肝』となるもの、すなわち、これまでの技術者が受け継いできた解析技術—的確な評価及び判断—を伝え、若手技術者がそれを学び取ることを目的として、『技術伝承講習会』を開催する。

1 受講対象者

「軟弱地盤解析」又は「地すべり解析」について、

①実務経験のある若手技術者

②解析に興味がある、やる気がある若手技術者

(注) 未経験者や経験が浅い方は、各解析がどのようなことを行うのかについて、社内の経験者から事前に簡単なレクチャーを受けたうえで受講すること。

2 募集人数

各コースとも、10～15名程度

3 講習プログラム

別紙のとおり

4 日程

各コース、各回とも、開催時間は13時30分～16時30分とする。

(1) 「軟弱地盤解析」コース

第1回 11月5日(土)、第2回 11月26日(土)

(2) 「地すべり解析」コース

第1回 11月12日(土)、第2回 12月3日(土)

5 会場

クロスパル新潟

6 その他

(1) 「参加申込書」(別紙)は、10月5日(水)までに協会事務局あてメール願います。(参考) 協会事務局 n-chikyo@niigata-geo.or.jp (TEL225-8360)

(2) 受講者には、テキスト代実費負担(1,000円)をお願いします(初回集金)。

(3) 本講習会は、(一社)日本応用地質学会北陸支部との共催として実施されます。

令和4年度 新潟県地質調査業協会『技術伝承講習会』プログラム

コース	「軟弱地盤解析」コース	「地すべり解析」コース	備考
講師	榎 淵 俊 樹	五十嵐 敏 幸	
題 目	「軟弱地盤解析」業務において、実務の際に「肝」となるポイントを実作業の流れに沿って、解説、伝承します。	「地すべり解析」を行うにあたってのポイントを実作業の流れに沿って、解説、伝承します。	
概 要	軟弱地盤解析および対策工検討において肝となる点を解説します。	地すべり解析および対策工検討においてのポイント进行解説します。	
第1回講習会	1 軟弱地盤解析の肝 1 解析条件の設定 2 区間分けと解析断面 3 各種の解析方法	1 地すべり解析でのポイント 1 地すべり運動ブロック図の作成 2 地すべり断面図の作成(すべり面の設定) 3 地すべり観測結果の反映 4 地すべり機構解析 5 安定解析	
	2 対策工検討の肝 1 対策工種 2 対策工の選定	2 対策工検討でのポイント 1 計画安全率 2 対策工選定	
	3 第2回で討議する内容について (参加者よりヒアリング)	3 第2回で討議する内容について (参加者よりヒアリング)	
第2回講習会	第1回講習会において、受講者から軟弱地盤解析に関して「日頃からの疑問点や悩んでいる点」をお聞きします。 第2回講習会では、それらの疑問や悩みについて受講者の皆で意見交換、討議を行うとともに、講師がアドバイスを行う予定としています。	第1回講習会において、受講者から地すべり解析に関して、「日頃からの疑問点や悩んでいる点」をお聞きします。 第2回講習会では、それらの疑問や悩みについて受講者の皆で意見交換、討議を行うとともに、講師がアドバイスを行う予定としています。	
その他			